

平成29年度自己評価及び学校関係者評価

平成30年 2月22日
江別市立野幌小学校

1. 本校の経営の重点目標

◎すべての教育・体験的な教育活動を通して、個々の良さの伸長とやり抜く力の育成
◎ふれあいの場を通して、挨拶などの定着と思いやりの心の醸成

2. 自己評価表

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	特認校としての特色ある教育課程の編成・実施と学習指導の充実	A	地域の特色を生かした教育課程（原始林学習・栽培活動）を編成・実施し、地域素材や人材の活用を図り、地域とともにある学校として魅力ある教育活動を推進していく。	A	A
	愛林班活動の活発化と子どもたちのふれあいの推進	A	異学年の活動を中心とした愛林少年団活動を実施していくことで、責任感や思いやりの気持ちを育み、互いのよさを認め合う気持ちを高めるとともに郷土愛や愛校心を高めていく。	A	A
	体力向上の取組と保険・安全教育の推進	A	外遊びの奨励や日常の体育・保健の実践、野小タイムの推進等を継続的に実施していくとともに、冬期間における屋外活動の環境整備にも努めていく。	A	A
	共に子どもを育てる保護者・地域との連携・協力	A	教育方針や教育活動について保護者や地域に積極的に発信（懇談会・通信・HP等）するとともに学校に対する要望についてもアンテナを高くし、受信も心がけていく。	A	A
教育課程学習指導	地域素材・人材の活用、原始林の活用等、学ぶ楽しさを味わうことのできる教育活動の推進	A	体験活動を通して学ぶ喜びや楽しさを味わえる教育課程を編成していくために、地域の素材や人材を積極的に発掘し魅力ある教育活動に活用していく。	A	A
	習得・活用・探求の場を設定し、合同授業など指導体制の工夫・改善を図る	A	理科専科や学習サポート教員、管理職の適切な配置により個々の学びを高め、ブロックごとの合同授業の実施等を通して互いに高め合う教育活動を推進していく。	A	A
	言語活動の充実、家庭学習の定着により、学習習慣の確立を図る	B	各種教育活動において表現（話す・聞く・書く等）の場を意図的・計画的に設けることで意欲と言語感覚を高める機会としていく。個人懇談や懇談会、お便りや家庭学習の手引きの配付等により子どもの実態を伝え、保護者の協力も得ながら学力の向上を図っていく。	A	A
生徒指導	異学年の集団活動や縦割り班（愛林班）活動を通して好ましい人間関係を構築させる	A	愛林班活動や各種全校活動（たてわり班の清掃活動・全校給食・各種行事等）を通して責任感や協調性、思いやりの心の醸成を図っていく。	A	A
	日頃よりいじめの実態把握に努め、組織的に迅速に対応する体制が整備されている	A	全職員で全児童を見守るを合い言葉に子どもたちとふれあい、実態についての交流を図ることのできるや不登校等の未然防止に努めていく。問題行動等があった場合は迅速に組織的な対応をしていく。	A	A
教職員・保護者・地域の連携	教職員全員が児童全員を指導する体制を構築し、こころのふれあいを大切にする	A	実態把握と合わせ、指導を共有化し、子どもたちが安心安全に居場所のある学校生活を送ることができるよう保護者とも連携を図り、子どもに寄り添った指導を行っていく。	A	A
	学校・家庭・地域が連携・協力して共に子どもたちを育てるという考え方を共有して日常の教育活動を推進する	A	学校便りやHP、メール等により情報発信を心がけるとともに、積極的に保護者や地域の方と顔を合わせて話す機会を多く設け、双方向のよりよい関係づくりに努めていく。	A	A
	P T A活動・育成会等の地域の活動に進んで活動し、協調関係を深める	A	野幌自治会や育成会の方、P T A役員を中心とした会員との連携を強化し、互いに協力しながら特色ある活動を推進し、子どもたちの健やかな成長をめざしていく。	A	A
体力づくり	体育の授業や全校的な外遊び、野小タイムなどの体力の向上と健全な心身の育成を図る	A	体力づくりの取組や外遊びの奨励、野小タイムの実施、外部講師を活用した走り方教室の開催や食育指導等、他機関とも連携しながら体力向上や健全な心身の育成を図る。	A	A

【評価項目の設定、達成状況および改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- 学校はたくさんの魅力的な活動を行っていることがすばらしい。先生方が少ない中、多くの活動を互いに連携・協力し合いながら多くの活動を推進しており、職員のがんばりがすごいと思う。是非、先生方の思いを教育活動に反映して欲しい。それが子どもたちや地域にとってもプラスにはたらいって欲しい。校長の主導はとても重要であり、これからも積極的に挑戦し続ける思いで家族や地域と手を取り合いながら様々な教育活動を推進して欲しい。
- 地域は学校が特色ある教育活動を行い、多くの子どもたちが野幌小に通っていることをとてもうれしく思っている。その保護者（特認家庭）についても野幌の準自治会会員であるという思いでいる。地域の各種行事にも多く参加いただき、地域のよさや魅力、伝統に見て・触れて・知っていく機会となればと願っている。これからも学校・家庭・地域が互いによい関係を持ち、学校の発展に力を注いでいきたいと考えている。